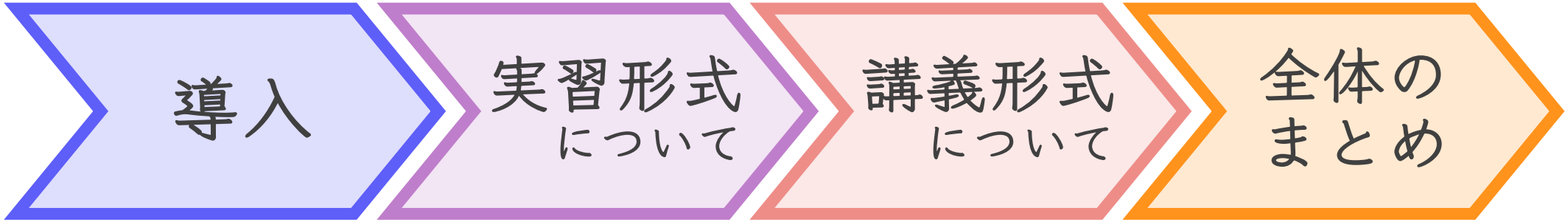
学生から見たオンライン授業

理学部生命科学科 3年 佐藤伶圭

発表の流れ



使用するデータ

独自アンケートの詳細

対象：学生 (理・生命 学部3年 (59名))

回答率：81% (48件)

主題：生命科学科専門の授業について

形式：選択肢形式、文字入力形式

期間：6/28~7/6 の9日間

方法：Google フォーム

はじめに

授業の振り返りにあたって、２つの授業形態を比較する

	講義形式	実習形式
主な授業方法	教員による解説	解説+学生が実験・観察
授業内容の傾向	専門分野の概説	特定の仮説や理論の検証
成績評価	授業態度・課題・テスト	実験レポート

はじめに

授業の振り返りにあたって、２つの授業形態を比較する

	講義形式	実習形式
主な授業方法	教員による解説	解説+学生が実験・観察
授業内容の傾向	研究分野の概説	特定の仮説や理論の検証
成績評価	授業態度・課題・テスト	実験レポート

実習形式
解説+学生がデータ解析
特定の仮説や理論の検証
実験レポート

アンケート最後の項目

＜質問文＞

「感染拡大防止の対策を行ない対面の授業をする場合、
少人数での実施や間隔を開けた実施が求められます。
そのため、授業環境の変化が想定できますが、
その上であなたは対面授業とオンライン授業
どちらを選びますか？」

授業環境の変更が考えられる現在の状況下で、

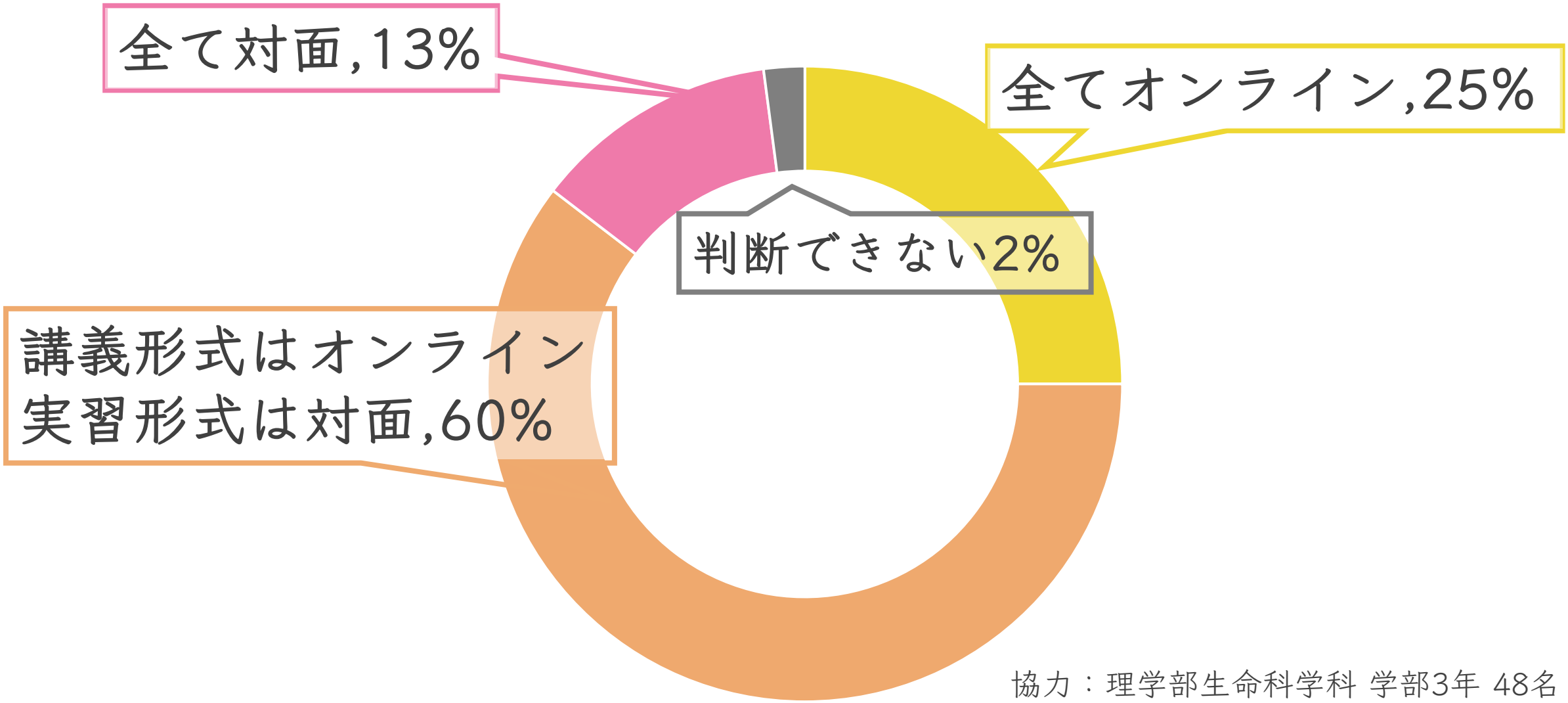
オンライン授業と対面授業どちらを選ぶか？

＜選択肢＞

- 全てオンライン
- 講義形式はオンライン、実習形式は対面
- 講義形式は対面、実習形式はオンライン
- 全て対面

授業環境の変更が考えられる現在の状況下で、

オンライン授業と対面授業どちらを選ぶか？



協力：理学部生命科学科 学部3年 48名
実施期間： 6/28~7/6

授業環境の変更が考えられる現在の状況下で、

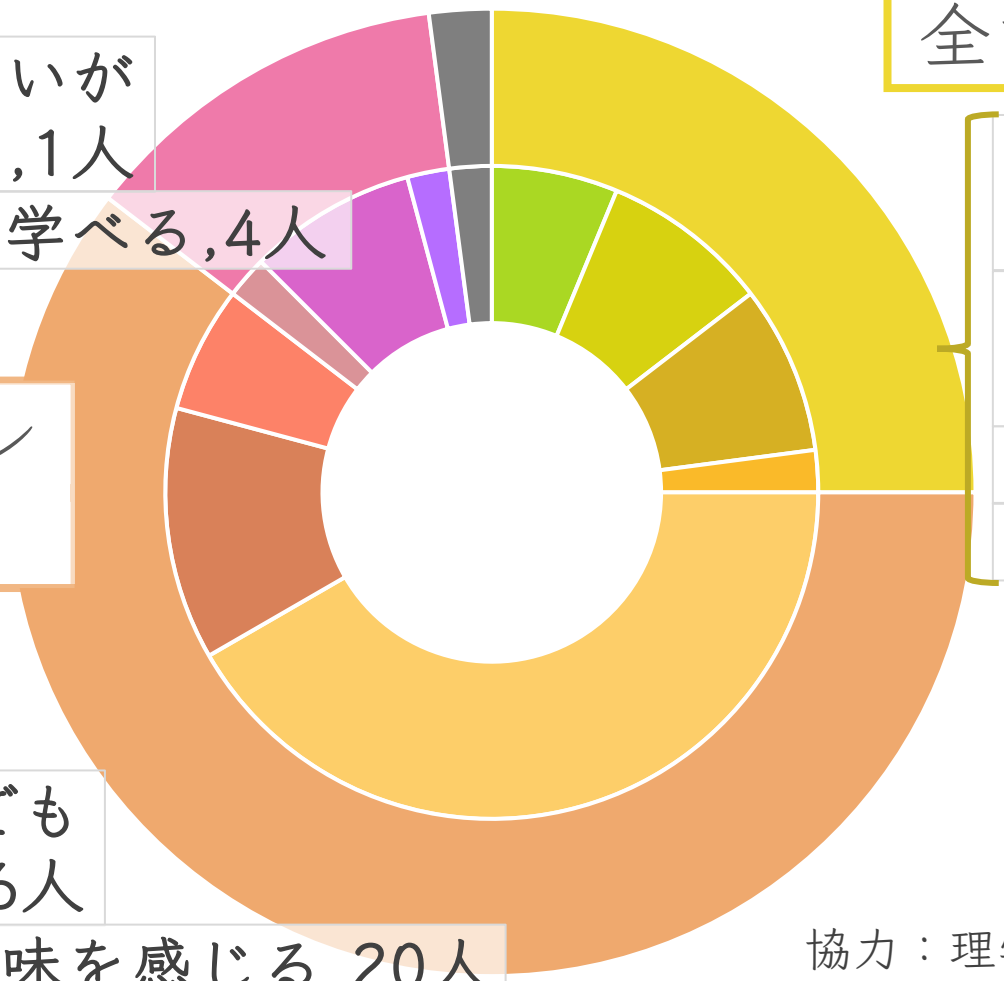
オンライン授業と対面授業どちらを選ぶか？

全て対面,13%

- 実習は対面がいいが混ぜたくない,1人
- 対面の方がより学べる,4人
- その他,1人

全てオンライン,25%

- オンラインの方がより学べる,3人
- 実習は対面がいいが混ぜたくない,4人
- 感染拡大防止,4人
- 家庭の事情,1人



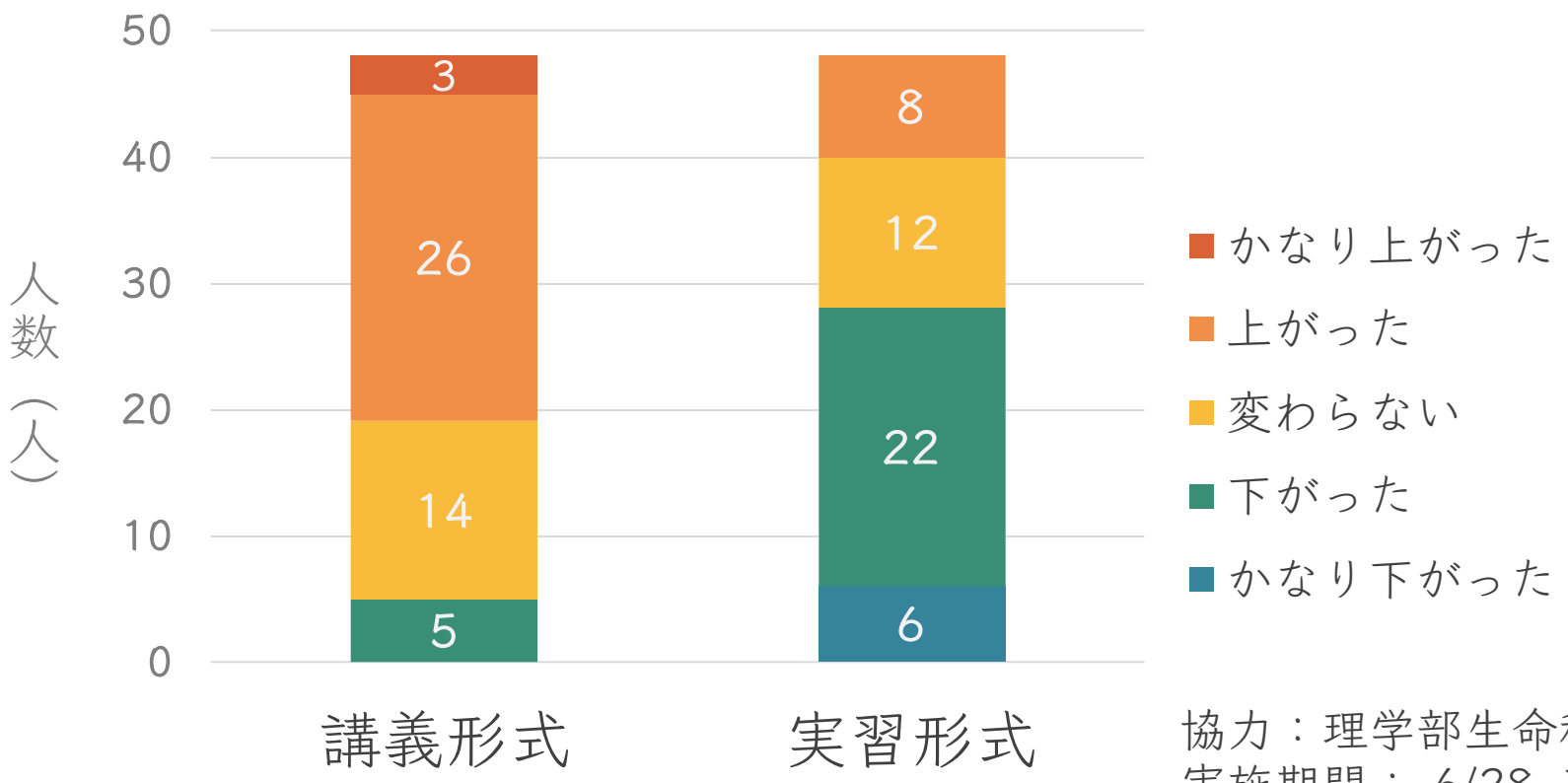
講義形式はオンライン
実習形式は対面,60%

- 現在のオンライン実習がいや,3人
- 講義はオンラインでも意味を感じる,6人
- 特に実習は対面に意味を感じる,20人

協力：理学部生命科学科 学部3年 48名
実施期間： 6/28~7/6

理解度について

Q. 対面授業とオンライン授業を比較した時、
全体的な理解度はどうなりましたか？



協力：理学部生命科学科 学部3年
実施期間： 6/28~7/6

理解度が変化した理由 ~講義形式~

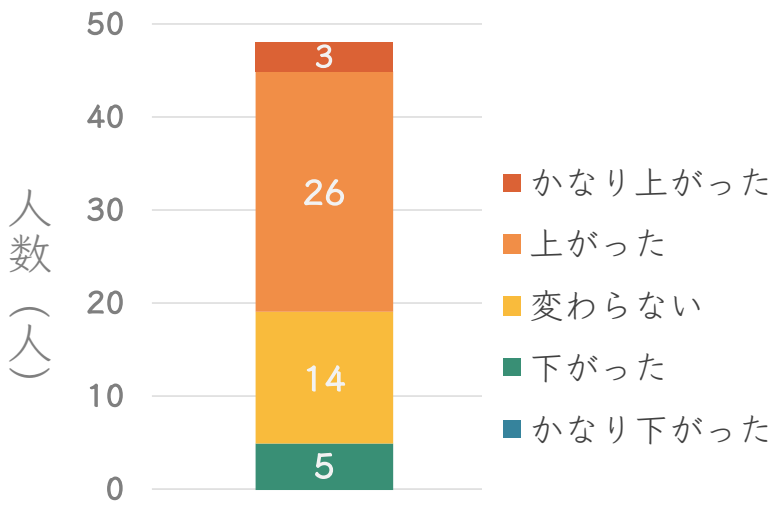
導入
実習形式
講義形式
全体のまとめ

かなり上がった・上がった

- 1人で受講でき、集中しやすくなったから(12件)
- 質問がしやすくなったから(9件)

下がった

- 自宅だと集中できないから(1件)
- 気軽に質問がしにくくなったから(2件)
- 通信環境が悪いから(1件)



理解度が変化した理由 ~実習形式~

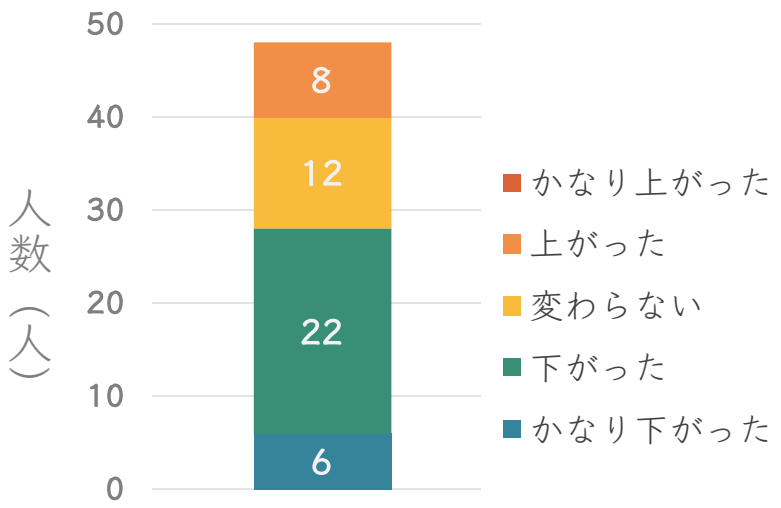
導入
実習形式
講義形式
全体のまとめ

上がった

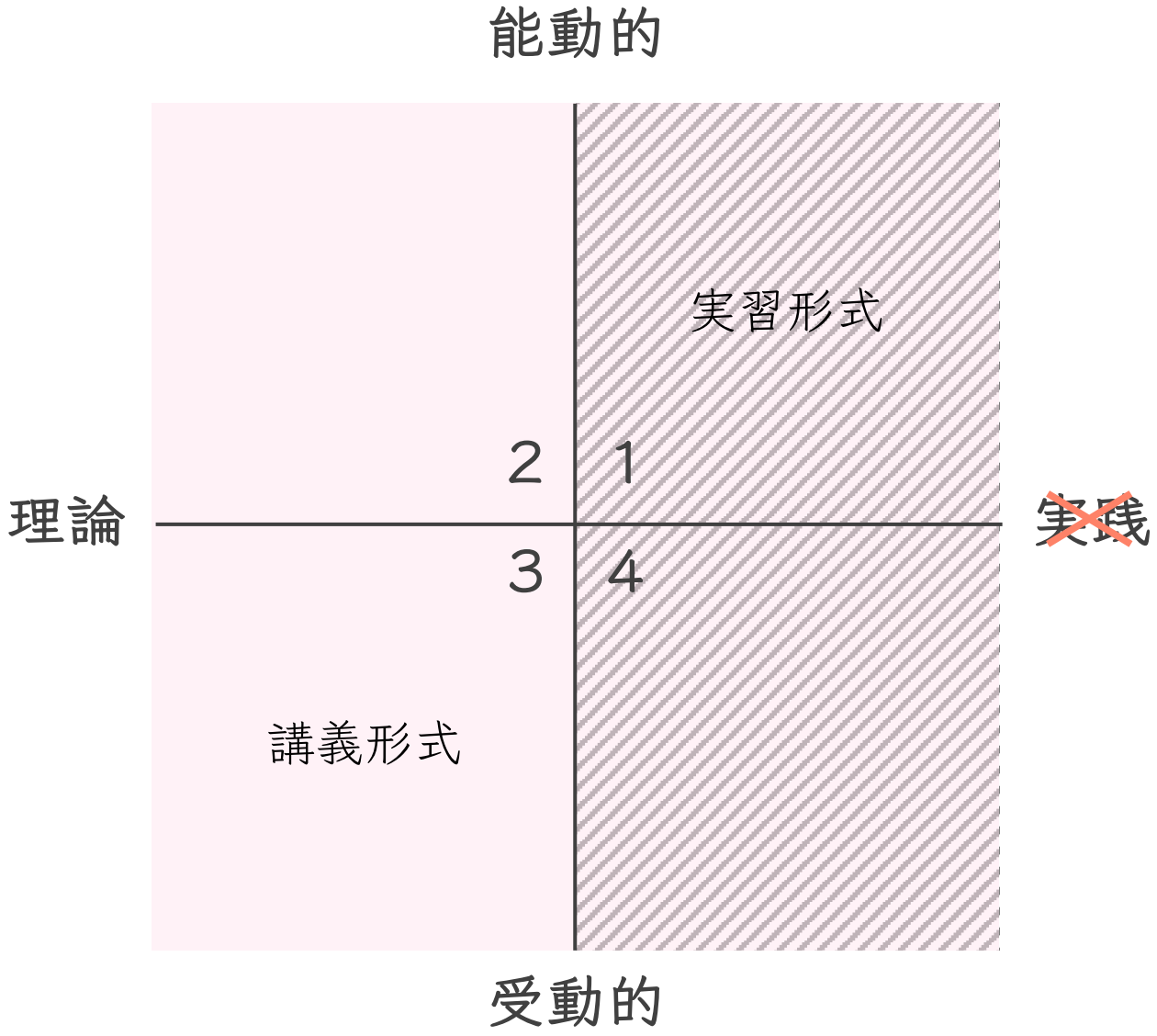
- 自ら学ぶようになったから(4件)
- 先生が丁寧になったから(2件)

かなり下がった・下がった

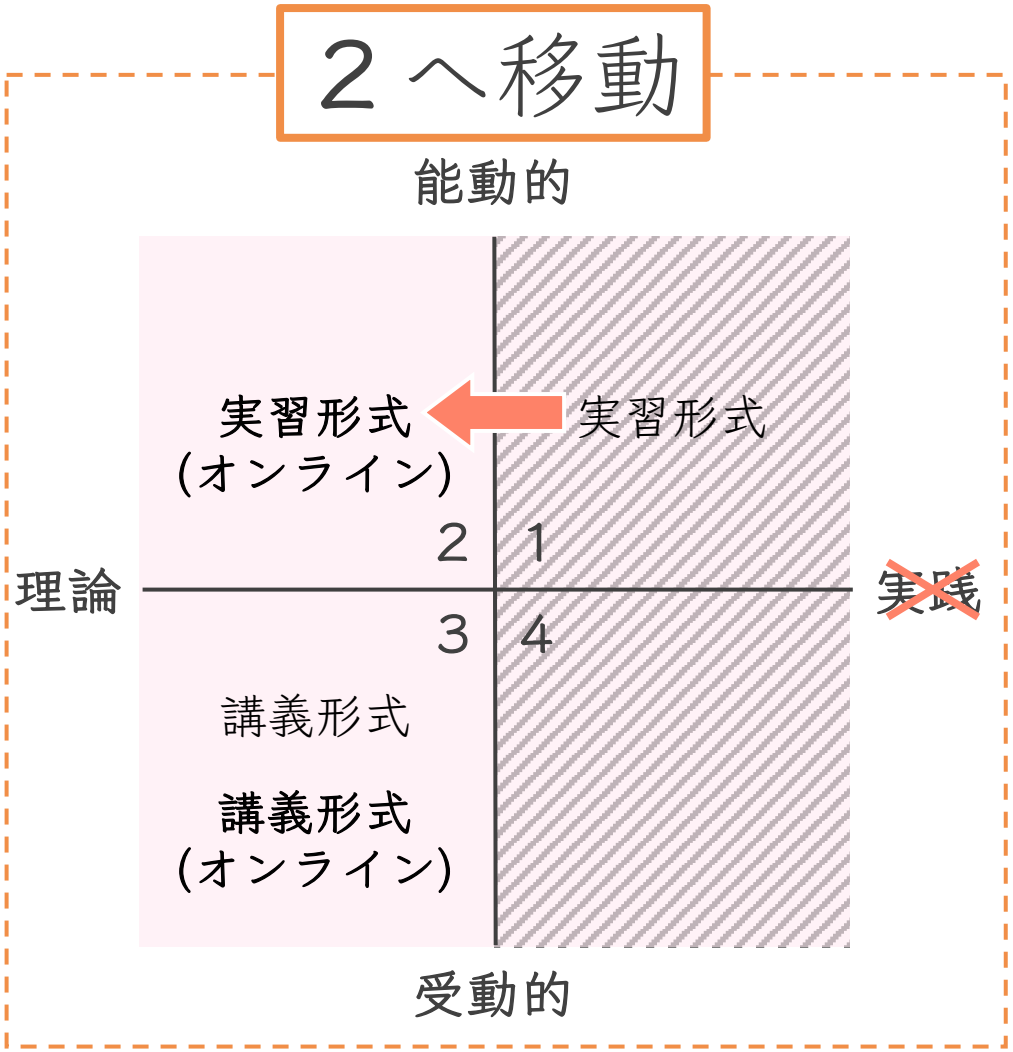
- 手を動かせていないから(15件)
- 動かせても不十分だから(4件)
- 友人との意見交換が難しいから(4件)



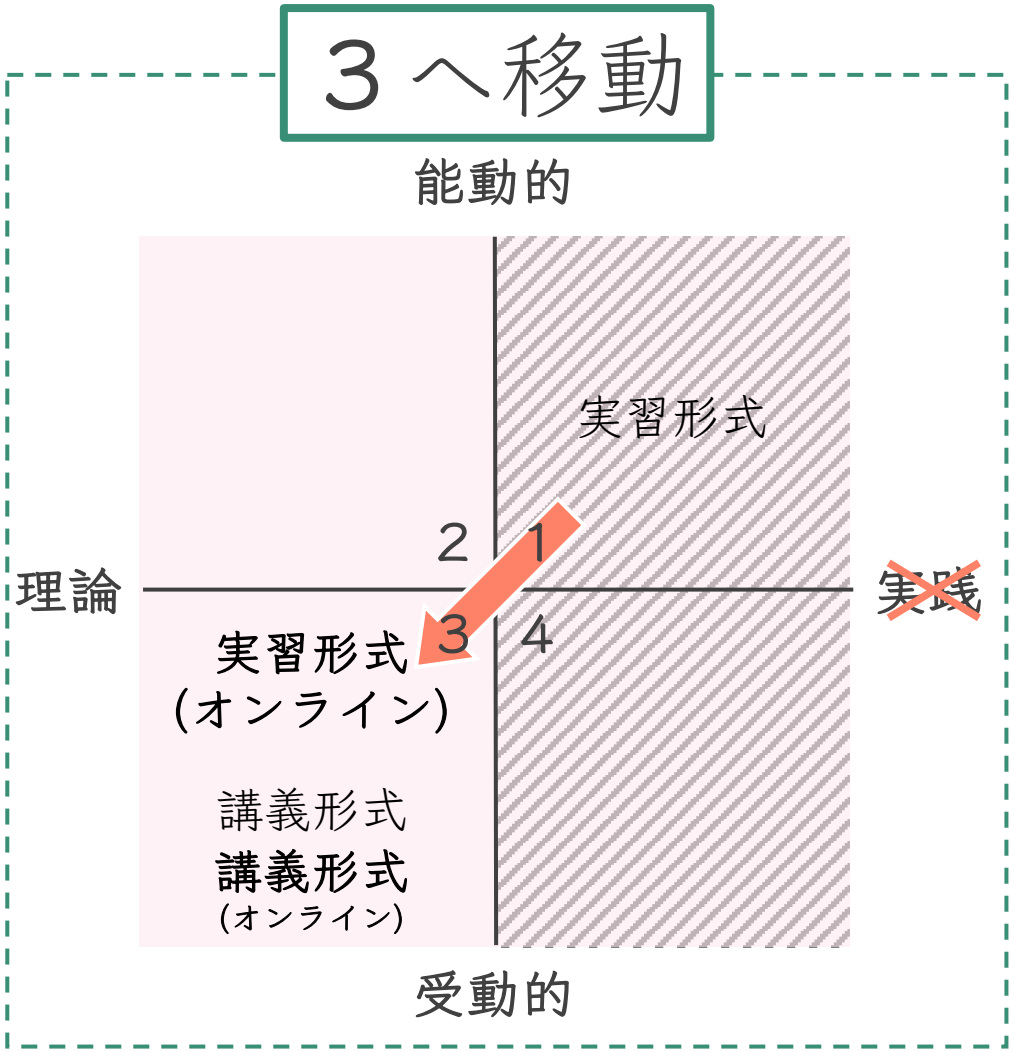
授業のタイプ



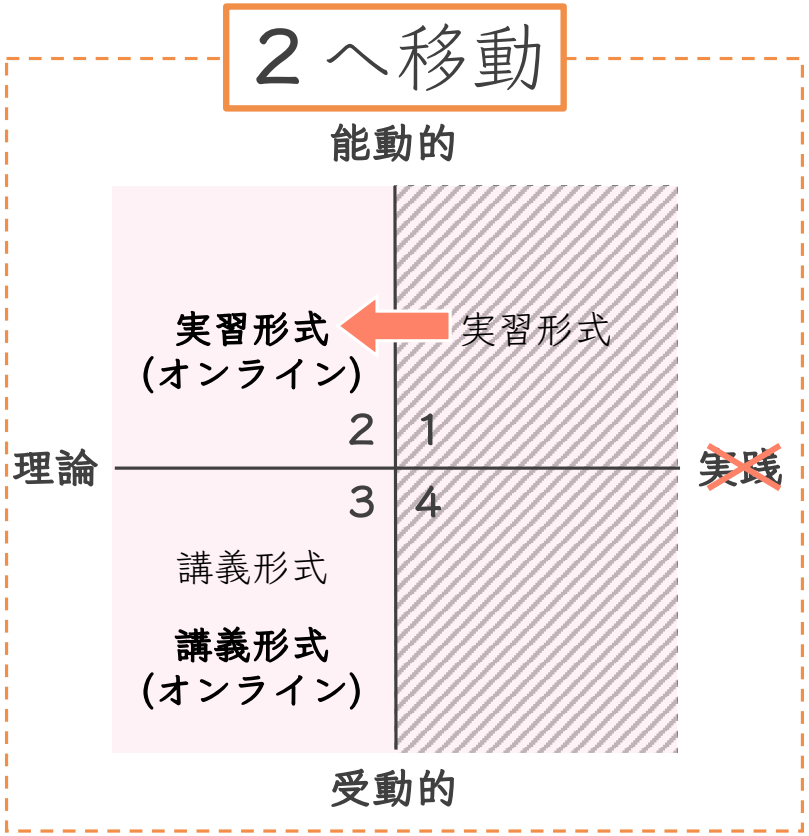
講義と実習


2へ移動
能動的
実習形式
(オンライン)
実習形式
2
1
理論
実践
3
4
講義形式
講義形式
(オンライン)
受動的

OR


3へ移動
能動的
実習形式
2
1
理論
実践
実習形式
(オンライン)
3
4
講義形式
講義形式
(オンライン)
受動的

理解度が変わらない理由



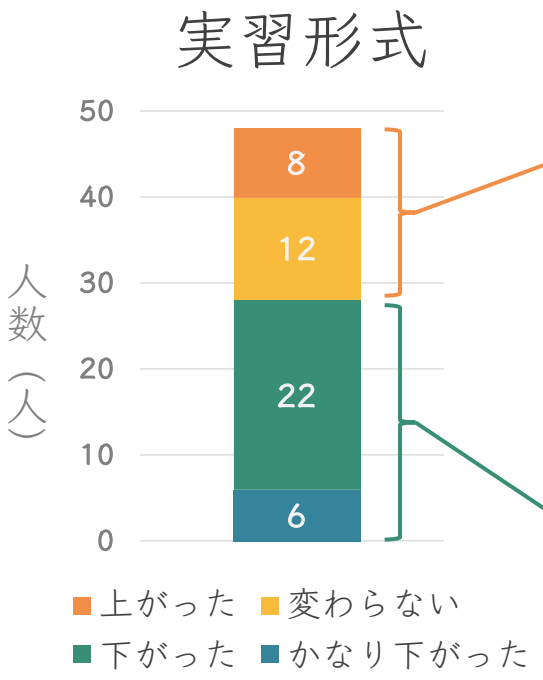
実習形式▽

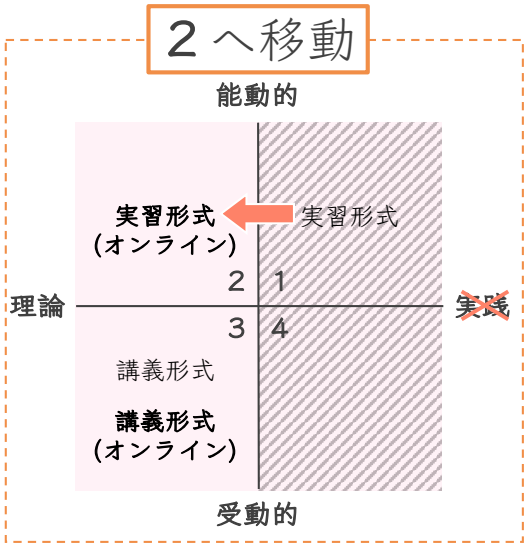
質は落ちたが量を増やしたため(1件)
自分で調べるようになったから(1件)

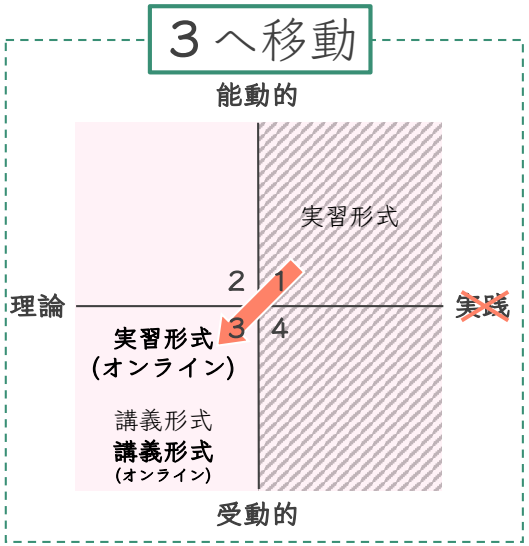
講義形式▽

対面の授業とあまり変わらないから(4件)

実習形式の理解度が低い原因





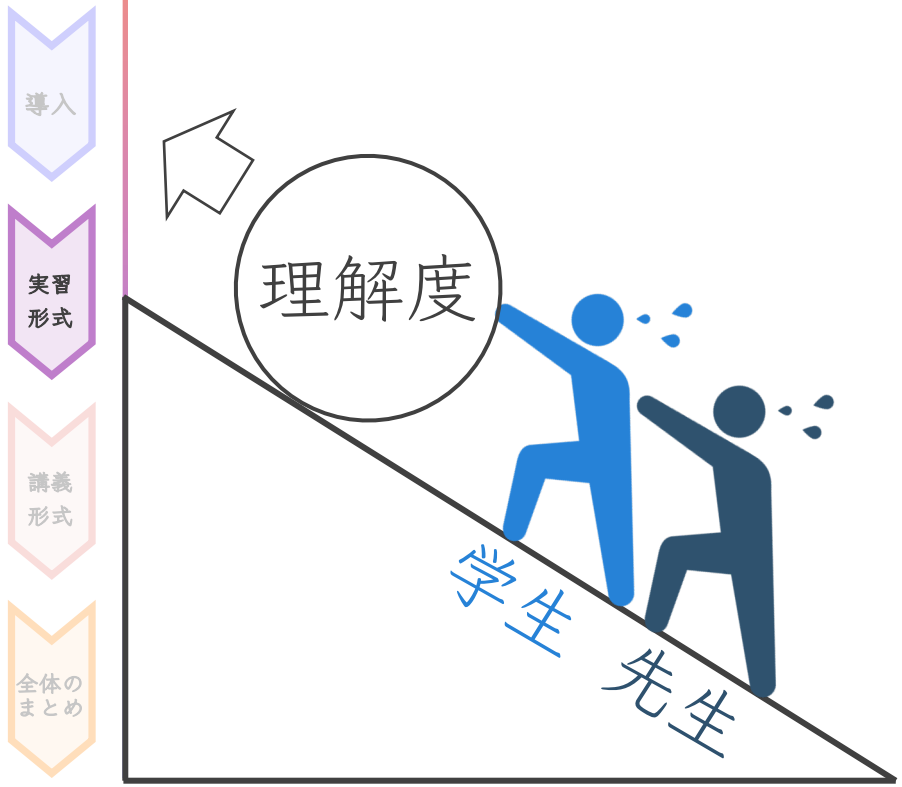


自分で調べる
能動的に取り組む

実践がないので
理解しづらい

勉強法がよくわからないため、
このパターンになりやすい可能性

ここまでの結論



×情報の暗記

〇問題の解き方を見つけ、
答えに到達する

能動的学習を促す授業の仕掛け

例）

- 授業内で問題を出し
  解答を元にディスカッションする
- 少人数でプレゼンを作成し
  発表する
- (単純作業)

講義形式について

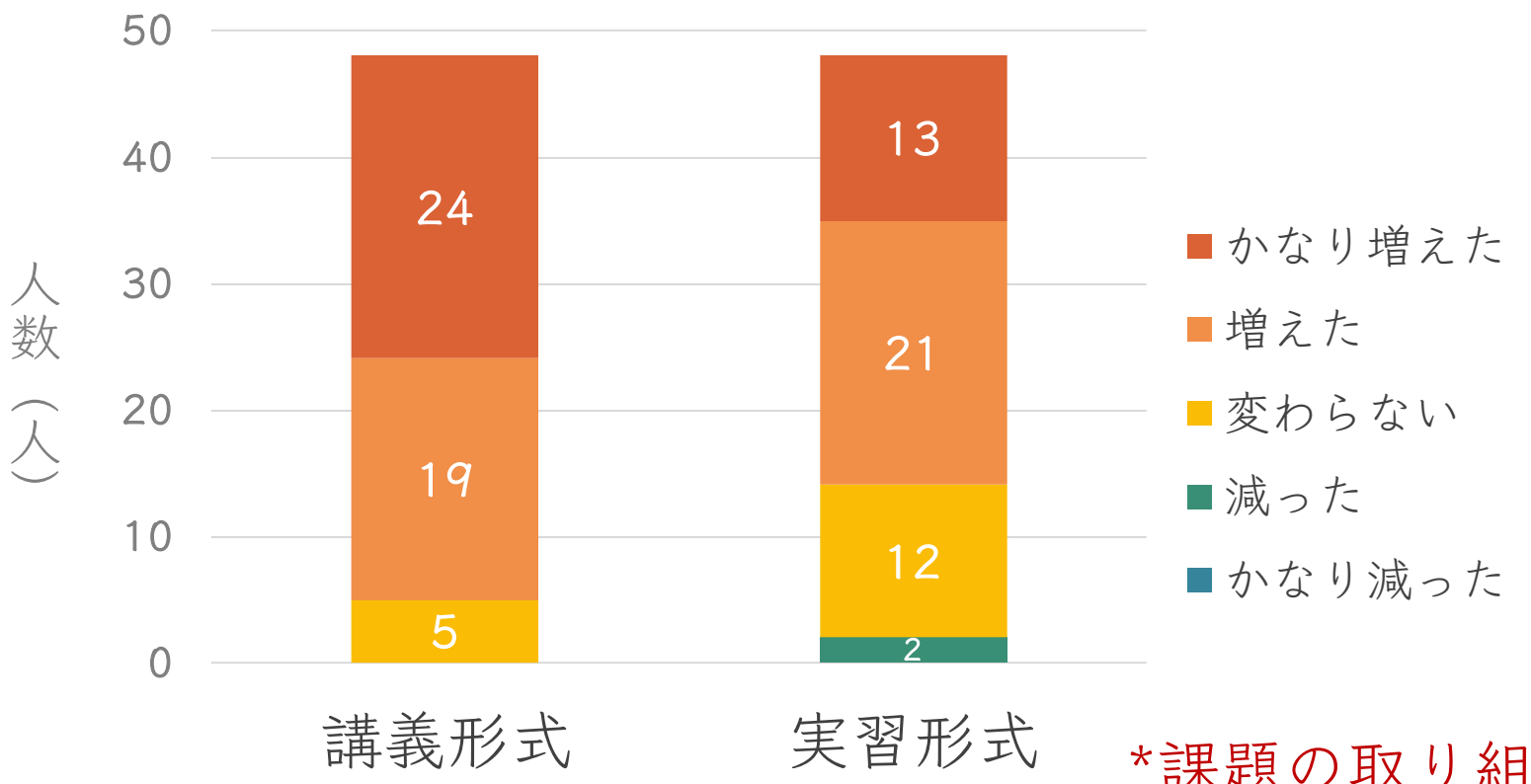
特に多かった意見

課題の出し方について

- 一回大きなレポートを出すよりも毎回細かな課題を提出した方が、理解しやすく、復習できるので安心する。
- テストを行うことが難しいため、課題が増えてしまうことは仕方ないとわかってはいるが、全ての授業で課題が多いと消化不良を放置してただ課題をこなすことになってしまうと思う。
- (課題が)多い教科では3時間以上かかる場合もある。

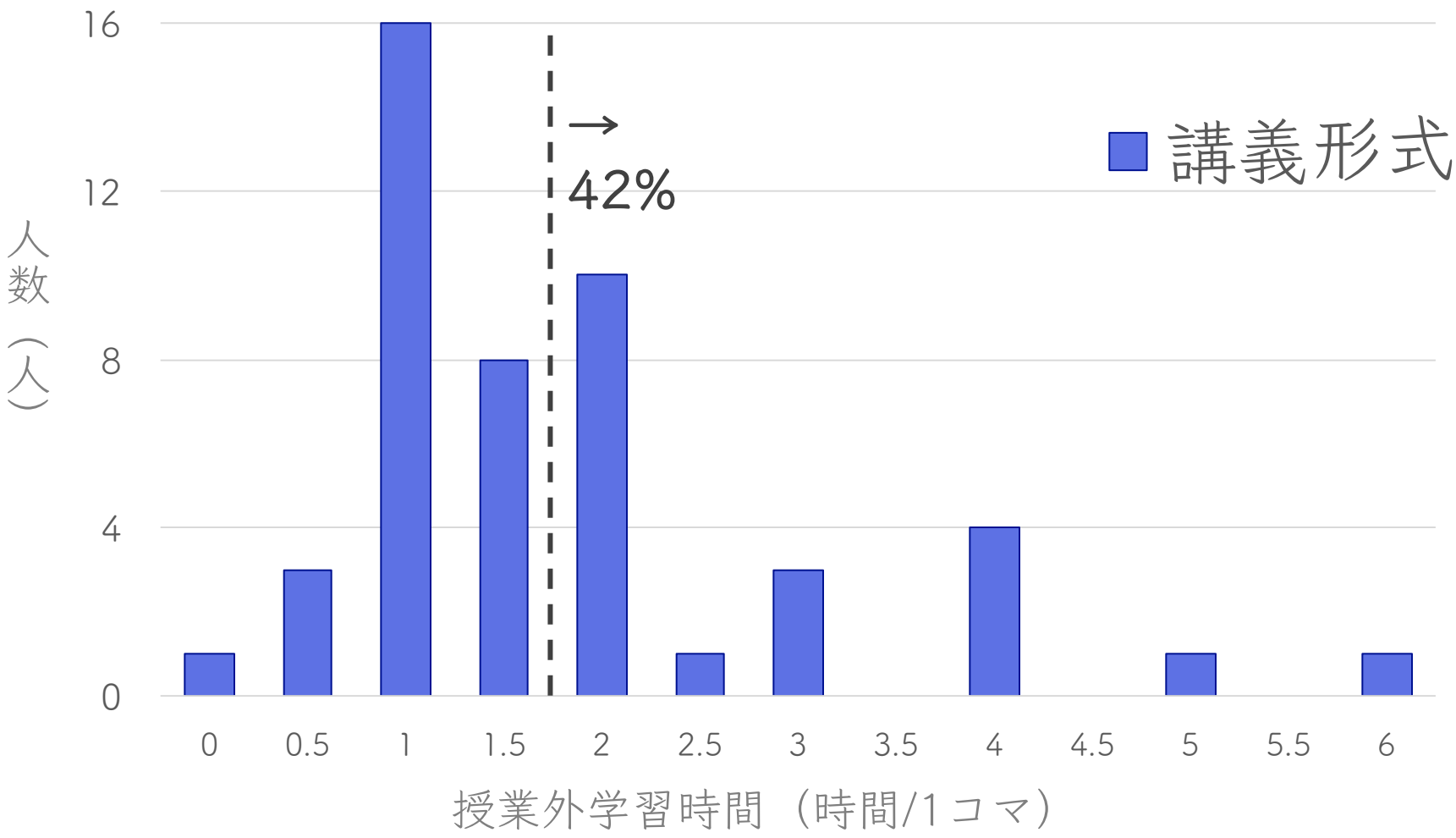
授業外学習時間*について

Q. 対面授業とオンライン授業を比較した時、
授業外学習時間はどうなりましたか？



*課題の取り組み時間を含む

現在の1コマあたりの授業外学習時間



講義形式の結論

- 期限を伸ばす
- こまめにライトな課題を出す

→集中を避ける

- 取り組み時間や文字数の目安を伝える

→プレッシャーを緩和する

多かった意見

授業間の連携について

授業によってフォーマットが異なり混同するので統一してほしい。

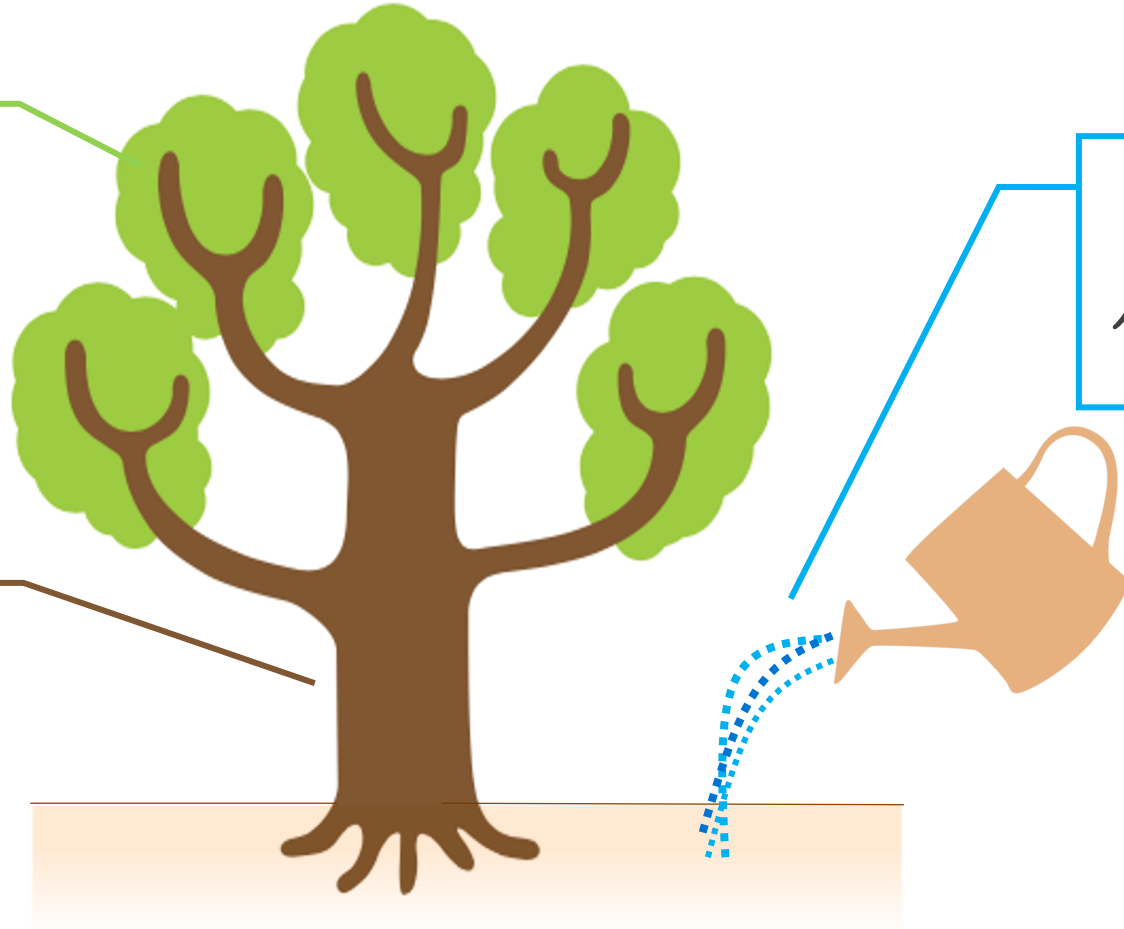
→ 課題の提出場所、出席確認の方法
zoom情報の掲示方法、ビデオ ON/OFF のルール
＋ 課題の出し方

全体のまとめ

オンライン授業をより良いものにするために…

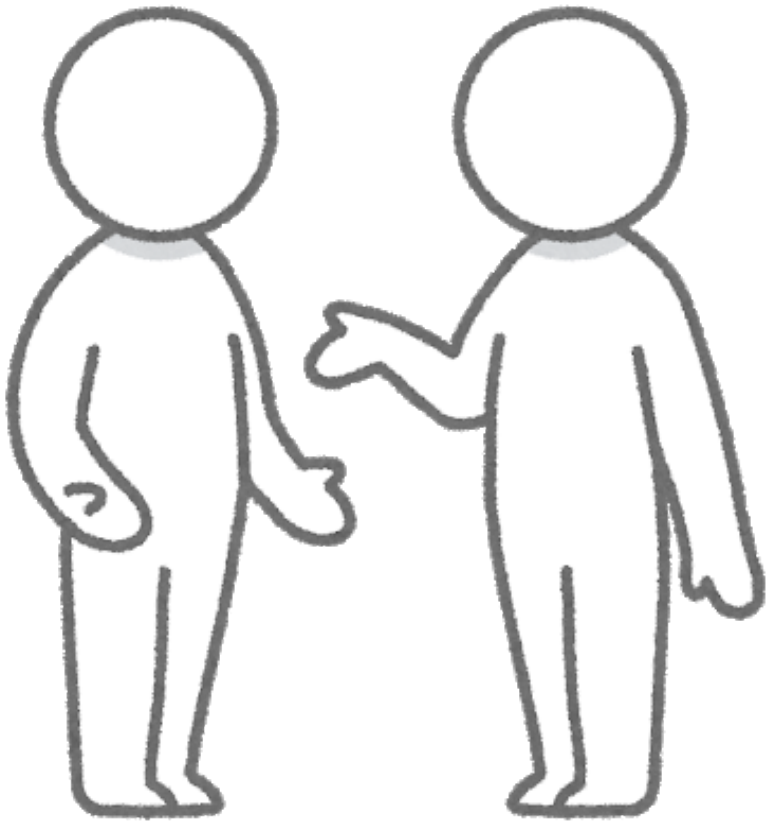
授業内の工夫
例)少人数で
議論させる

授業間の連携
ルール統一



コミュニ
ケーション

最後に



先生⇄学生

相互のコミュニケーション

⇩

授業改善ができる

学生の能動性が増す

⇩

授業の理解度向上